

競技注意事項

1 競技規則について

本大会は、2024年日本陸上競技連盟規則および大会規定によって行う。

2 競技場の練習について

- (1)本競技場の練習については、準備の邪魔にならないように競技開始30分前まで認める。競技開始後は補助競技場を使用すること。
- (2)メディシンボールの使用は補助競技場の指定された場所で行うこと。

3 招集について

- (1)選手招集場は、雨天練習場に設ける。
- (2)招集完了時刻は、トラック競技15分前、フィールド競技30分前とする。
但し、棒高跳については60分前とする。
- (3)招集完了時刻に遅れた者は、失格とする。
- (4)招集の手順
 - ①招集開始時刻に競技者係の点呼を受ける。その際、アスリートビブスと競技用シューズの点検を受ける。
 - ②招集時の代理人は認めない。
 - ③2種目を同時に兼ねて出場する場合は、最初の競技の招集開始時刻までにあらかじめその旨を本人が競技者係に申し出たうえ、所定の用紙に必要事項を記入し、最初の競技の招集完了時刻までに提出する。
(その際、招集を受けられない競技は原則として代理人を出すこと)
- (5)混成競技は、最初の種目(第1日目、第2日目とも)を招集所で招集を受ける。また、2日目の最終種目については、番組編成を行うので招集場で招集を受ける。その他の種目は、現地招集とし、招集完了時刻については上記に準ずる。途中棄権する場合は、必ず総務に申し出る。

4 競技について

- (1)レーン順、試技順はすべてプログラム記載の番号順とする。
- (2)男子100m・200mは準決勝を行い、上位8名を決勝進出とする。
男子5000m、女子100m・200m・400mH、男女各リレー種目はタイムレース決勝とする。
ただし、女子100m・200mは予選を行い上位16名を決勝進出とする。
- (3)リレーのオーダー用紙は、招集開始時刻の2時間前から1時間前までに招集場に提出すること。
- (4)バーの上げ方は次の通りとする。(開始の高さについては出場者の実情に応じて設定する)
男子走高跳 1.40・60・75(練) 1.45-50-55-60-65-70-75-80 以後3cmきざみ
女子走高跳 1.15・35・45(練) 1.20-25-30-35-40-45-50 以後3cmきざみ
男子棒高跳 2m50~4m50(練) 2.60-80-3.00-3.20 以後10cmきざみ
女子棒高跳 2m00~3m50(練) 2.10-20-30-40-50 以後10cmきざみ
順位決定の際のバーの上げ下げは、走高跳2cm・棒高跳5cmとする。
- (5)やりは競技場備え付けのものを用意するが、検査を受けて自己の物を使用してもよい。但し、借り上げた後は検査を受けたやりはどれを使用しても良い。検査場所、時刻は下記の通り。
検査場所・・・100mゴール側用器具庫前
検査時刻・・・混成 2日目(9/22) 男子 9:10 ~ 9:30 女子 9:10 ~ 9:30
女子 2日目(9/22) 7:40 ~ 8:00
男子 2日目(9/22) 12:30 ~ 12:50
- (6)棒高跳用ポールは自己のものを使用するものとするが、跳躍審判員の点検を受けること。
- (7)スパイクの長さは、9mmを越えてはならない。(走高跳、やり投は12mm)
- (8)三段跳の踏切板は男子11m00 女子は9m00板を使用する。
- (9)競技規則 TR5.2に適合しないシューズの使用は認めない。ただし、踵より前底部の靴底が厚いフィールド競技用シューズについてはTR5.2の適用を除外する(三段跳用)。